

	<h3>NE 式写真電送装置</h3> <p>[カテゴリー] モノ/こと</p> <p>【顕彰先】 日本電気 (株)</p> <p>【顕彰理由】 日本電気株式会社の丹羽保次郎と小林正次らは、写真画像を電気信号に変えて送受する NE 式写真電送装置を 1928(昭和 3)年に開発した。新聞各社はその年の 11 月に行われた昭和天皇即位の大典に際し写真電送技術を導入し、NE 式も外国の技術と並んで採用された。電送結果は高く評価され、この分野の国産技術発展に道を開いた。</p> <p>(左写真は NE 式写真電送装置と発明者の丹羽(左)・小林(右))</p> <p style="text-align: right;">写真提供：日本電気 (株)</p>
	<h3>家庭用ビデオと放送番組視聴の実現</h3> <p>[カテゴリー] モノ/こと</p> <p>【顕彰先】 ソニー (株)</p> <p>【顕彰理由】 ソニー株式会社は、放送業務用の大型ビデオテープレコーダーを小型化し、誰もが普通に使えるものを世界で初めて実現した。さらに家庭用ビデオテープレコーダーを、テープのカセット化を実現した U-matic 方式とともに Beta 方式を、それぞれ開発・商品化した。米国における著作権裁判に勝訴し、放送番組を家庭で自由に楽しめるビデオ録画を可能とした。</p> <p>(左写真は世界初のオールトランジスタ式家庭用ビデオテープレコーダー「CV-2000」)</p> <p style="text-align: right;">写真提供：ソニー (株)</p>
	<h3>カドニカ(密閉型ニッケルカドミウム蓄電池)</h3> <p>[カテゴリー] モノ</p> <p>【顕彰先】 パナソニックグループ エナジー社 三洋電機 (株)</p> <p>【顕彰理由】 1961 年に開発された、日本初密閉型ニッケルカドミウム蓄電池「カドニカ」は、二次電池の先駆けであり、現在も世界中で使用され、ブランド認知率 85%の充電電池「eneloop (エネルーブ)」の起源となった技術である。カドニカは、携帯電話などのモバイル機器、ハイブリッド自動車の普及にも多大に貢献し、我々の生活スタイルを大きく変化した。</p> <p>(左写真は現在の「カドニカ」商品 (例))</p> <p style="text-align: right;">写真提供：パナソニックグループ エナジー社 三洋電機 (株)</p>
	<h3>PC-9800 シリーズ</h3> <p>[カテゴリー] モノ/こと</p> <p>【顕彰先】 NEC パーソナルコンピュータ (株)</p> <p>【顕彰理由】 パーソナルコンピュータ PC-9800 シリーズの初代機 PC-9801(1982 年発売)は、高速演算、日本語処理などの機能を備え解析時間が大幅に短縮されたことから、日本の教育研究機関や企業の設計製造部門へ多数導入され研究開発を加速させた。全盛期には日本国内で圧倒的なシェアを占め「きゅつぱち」の愛称で親しまれ、我が国の IT 社会実現に大きく貢献した。</p> <p>(左写真は初代機 PC-9801)</p> <p style="text-align: right;">写真提供：NEC パーソナルコンピュータ (株)</p>
	<h3>依佐美送信所と超長波による初の欧州との無線通信</h3> <p>[カテゴリー] モノ/こと/場所</p> <p>【顕彰先】 依佐美送信所記念館(刈谷市)</p> <p>【顕彰理由】 依佐美送信所は、1929 (昭和 4) 年、愛知県碧海郡依佐美村 (現刈谷市) に対欧無線局として設立され、超長波による日本から欧州への送信を初めて行い、国際通信施設として重要な役割を果たした。高さ 250m・間隔 480m の鉄塔 8 基を 2 列に配置して懸架された送信空中線、当時世界最大規模の 700kVA 高周波発電機などで構成された送信設備であった。</p> <p>(左写真は当時の依佐美送信所本館と鉄塔 (当時の絵葉書))</p> <p style="text-align: right;">写真提供：依佐美送信所ガイドボランティアの会提供)</p>